

平成30年度 八洲学園大学国際高等学校事業計画書

1. 施設の概要

(1) 所在地

学校名	所有区分	郵便番号	学校（会場）所在地	電話番号	FAX 番号
八洲学園大学国際高等学校	法人所有	905-0207	沖縄県国頭郡本部町備瀬1249	0980-51-7711	0980-48-4115

2. 学生（生徒）の概要

(1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧（平成30年3月1日現在）

設置課程	設置学科	入学定員 (人)	①収容定員 (人)	②正科生 在籍者数 (人)	③技能連携 在籍者数 (人)	④聴講生数 (人)	収容率 (%) $(②+③) \div ① \times 100$
通信制課程 (広域)	普通科	—	5000	1029	0	2	20.6

(2) 平成30年度入学者数・卒業者数・転学者数・退学者数・除籍者数予測一覧

	入学者数 (途中転編含む)	卒業者数	転学者数	退学者数	除籍者数	増加予測人数
正科生	490	350	10	10	50	35
聴講生	4					

3. 教職員関係

(1) 平成30年度管理職の概要

職名	氏名	備考
校長	中村 成希	新規 (予定)
教頭	鈴木 啓之	新規 (予定)
事務長	平良 亮	新規 (予定)

(2) 平成29年度教職員の概要 (平成30年3月1日現在)

		合計 (人)	沖縄	横浜
教員	本務	13	12	1
	非常勤	7	7	0
職員	本務	2	2	0
	兼務	7	5	2

八洲学園大学国際高等学校の平均年齢は教員 40.5 才、職員 39.0 才である。(平成30年3月1日現在)

4. 事業の概要

(1) 事業の概要

① 主な事業の計画

年度	事項	概要	進捗状況
25～	「高校卒業+αコース」の充実	・入学検討者にとっての当校の魅力を高めるとともに、在校生へのキャリアプラン構築支援のため、さまざまな資格取得やスキル獲得のための学習選択を提供する。	・平成29年度は、単位の「みなし修得」制度とリンクさせ、生徒への積極的な利用を図った。平成30年度は引き続き「+αコース」のメニューの拡充を行う。
29～30	レポート自習支援	・インターネット利用による自宅でのレポート作成支援を目的に、スマートホンや自宅PCコンテンツを作成・公開する。また、レポート提出方法など自宅学習全般にかかるコンテンツを公開することで、生徒の自宅学習促進と学校への問い合わせ対応の軽減を図る。	・平成29年度中にレポート出題内容全般を更新し、インターネット利用のインフラを整備した。平成30年度はネットコンテンツの充実と生徒のネット利用の指導を強化する。
22～	高大連携の具体化	・高校と大学の連携・接続を深めることで、内部進学者をいっそう増やすと共に、大学のある学園の附属高校として入学見当者からの魅力向上をはかる。具体的には大学の講義の高校生受講、大学教官の講演などの交流活動と、大学パンフレットの高校での配布や校内情報誌「ゆんたく」での大学記事掲載、不登校児への高校教育活動を大学講義のなかで紹介するなどの事業を実施する。	・平成29年度は、①大学公開講座の優遇受講 ②高校訪問活動での大学パンフの積極的配布 ③高校の地域支援活動である引きこもり支援活動への大学教官の派遣(年2回) ④大学の教員免許更新講習試験会場の設置 等を実施。大学への進学者を前年に引き続き輩出した。 ・平成30年度は、連携事業をさらに密に実施するとともに、大学講義の一部の沖縄での実施の整備等をすすめたい。

23～	進路指導の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の集中スクーリング参加、職員室来室の機会を有効に生かして、キャリア教育・進路指導を行うとともに、外部の合同企業説明会・就活イベントに学校として積極参加し、就職機会の拡大をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は学校情報紙「ゆんたく」に進路に関する連載を常設した。 ・平成30年度については、生徒数の増加の著しい地域での指定校推薦の早期からの新規開拓を図ってゆく。
22～	地域貢献・地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地域海岸の清掃ボランティア活動、地域の恒例行事となった少年サッカー大会を主催し、地域貢献・地域交流を通して学校の知名度と好感度を浸透させる。地元教育委員会及び商工会の賛同・協賛も頂いている。また、平成29年度は、少年バスケットボール大会も実施。 ・「一般社団法人ひきこもり支援相談士認定協議会 沖縄支部」を校内に設置し、地域のひきこもり支援者普及とスキルアップに貢献することで学校の知名度向上と入学見当者との遭遇機会向上をはかっている。また、本学の教職員も講演会&勉強会に出席する事によって研修としてスキルアップを図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校近隣の清掃や地域行事への参加、そして本学主催の地元チームの少年サッカー大会は地元から高い評価を頂いている。平成30年度も引き続き地域活動・参加を継続する。(約600名が集まった。) ・外部講師を招いて「ひきこもり支援」に関する講演会&勉強会を実施する。
22～	サポート校の開拓と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模塾や高等専修学校などのサポート校開拓とサポート校の募集支援・連携した広報活動などの支援活動を通じて、生徒募集のチャンネル増を維持・拡大させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は、平成29年度までに各地に開拓したサポート校の支援と、県内外のサポート校新規開拓を継続して行なう。

28～	高等学校等就学支援金の制度変更への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィッツ青山事件をうけて、国の制度・運用改正が続いており、平成30年6月（所得証明手続き変更）、31年度（マイナンバー導入）とさらに制度改正が予定されている。そこで制度改定を先取りしながら、生徒募集での案内や生徒保護者への事前のアナウンスを行うとともに、制度変更先駆けて事務体制の再整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度改正に対しては、生徒への案内文書、入学検討者への案内書類、学校WEBサイトの学費関連ページを刷新し、制度改正に沿った就学支援金事務手順の整備を行った。 ・平成30年度は平成30年6月改正に備えての案内更新や事務体制の整備、学習提携校への事前説明を行う。
23～	生徒の問題行動の未然防止	<ul style="list-style-type: none"> ・本校での生徒指導のあり方を見つめ直し、生徒対応の方法・学校ルールのアナウンスを再考慮して短期集中スクーリング中だけでなく自宅での問題行動の未然の防止に努める。担任と生徒指導部だけでなく、全教職員での確認や研修、マニュアル整備を通して、学校力として生徒対応に当たる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は、生徒への普段の働きかけと、ホームルームでの生徒向け問題行動確認試験を強化し、問題行動の芽の段階での予防的措置を徹底させた。 ・平成30年度は学校保健安全法令の改正を生徒指導マニュアルに反映させるとともに、宿舍管理規則違反や自宅での喫煙などの問題行動の未然予防を、学校情報紙や生徒向けパンフレットで啓蒙するとともに、ホームルームでの指導を強化する。

② 施設・設備の整備計画

年度	事項	事業規模等	事業費	財源	実施時期	備考
28～ 31	宿舍棟のエアコンの更新	中規模	1,000,000	管理修繕費	平成30年度の生徒募集状況を見ながら、毎年1フロアずつ更新する。	経年劣化による宿泊棟エアコンの故障が相次いで、生徒の宿泊に供せない部屋が複数出ているため、2階を優先して行う。
30～3 1	学校バス更新	中規模	3,000,000	車両費	平成30年度に現行バスを更新し、平成30～31	経年劣化により現行の学校バスの故障が相次いでいるため、早急に更新する。

					年で減価償却する。	
28～ 31	校舎宿舎のベッドの更新	中規模	1,000,000	管理修繕費	平成30年度の生徒募集状況を見ながら、毎年1フロアずつ更新する。	17年前に設置した宿舎木製ベッドの経年劣化や破損が相次いでいるが、製品が生産終了となり補充がきかないため。
22～	PC、PC周辺機、印刷機などの設置	小規模	400,000	管理消耗品費 備品補充費	平成30年度は、不調機器の置き換えとサポートの切れる旧OS機を中心に行う。	

③ 授業料変更等

年 度	事 項	概 要
30	計画なし	

④ 卒業生数、就業者数の見込みについて

平成30年度は、約320名の卒業生数を見込んでいる。
学校把握新規就業者数は、約20名を見込んでいる。

⑤ 生徒の就職、進学状況について

センター試験受験者・指定校推薦者一貫して増加傾向にあり、短大・専門学校志望から大学への進学志望へと4年制への志向が強まってきている。また、今年度も八洲学園大学への進学者を2名見込んでいる。
就職については、在学中から活躍する音楽家やパフォーマー・世界的バレエダンサーを輩出している。

⑥ 教職員採用・退職計画

年 度	事 項	概 要
29	退職者（教職員4名、パート0名）	
30	教職員採用（常勤講師5名）	任期制教諭・常勤講師（14名）、非常勤講師（7名）、常勤職員（2名）、非常勤職員（7名）

5. 財務の概要

平成29年度は、当初予想に比して沖縄県内の生徒募集および学習提携校所属生徒募集が堅調であり、前年に引き続き入学生徒数および履修登録のべ数が増加した。また、気象災害復旧費用も例年より抑えられた。しかしながら、年度当初の計画になかった八洲成績管理システムのクラウド化費用支出があり、収支は昨年と同様であった。

平成30年度は、学習提携校所属生徒募集が30名程度増加することが見込まれている。増収分を、学校バスの更新および壊れた生徒宿舍設備の更新工事に充当する。